



受講者の皆さんからのご質問と回答

Q.聞きなじみのない言葉について聞かれたときはどうすればよいか

集団への読み聞かせの時は、子どもに理解できない言葉があると分かったら、読み聞かせを始める前に、その意味を話しておきましょう。
読み聞かせの途中に質問された場合は、アイコンタクトで受けとめ、読み聞かせ終了後に説明しましょう。どうしても場合は一言で手短かに説明します。

Q.ブックトークはどんなテーマで紹介しているのか

図書館では、小学校 4 年生～6 年生向けに毎月ブックトークを行う小学生読書会を実施しています。
ホームページにテーマと紹介した本を掲載していますのでご覧ください。

Q.新しい絵本はどのように選べばよいか

講座内容を参考にしながら選びましょう。
読み聞かせのグループに所属している方は、複数人で選ぶとよいでしょう。

Q.読み聞かせは、本を机に置かず手に持って行う方がよいか

図書館では手で持って読み聞かせを行っているのですが、本を机に置いて行うやり方に関してあまりノウハウがありません。大型本を机に置いて読み聞かせを行うときは、めくるときにページが机に引っかかることがあるので、練習や工夫が必要です。いずれの場合も本が傾かないように注意しましょう。

Q.図書館では対象年齢をどのように分けておはなし会をおこなっているのか

0・1・2 歳向けと、3 歳～小学生向けに分けて行っています。

Q.高学年向けの読み聞かせでは、長いしっかりしたおはなしを選ぶべきか

クラスの子どもたちの中には、読み聞かせに慣れていない子もいます。高学年対象だからといって長いお話ばかり読む必要はありません。あまり聞き慣れていない子がいることも想定して、短いおはなしや参加型の本を取り入れ、バランスよくプログラムを組みましょう。

Q.巻末の解説(絵がなく文字だけのページ)も読んだ方がよいか

集団での読み聞かせでは飛ばしても構いません。家でじっくり読んでもらいましょう。

Q.読み聞かせ中に聞き手の顔を見るときは、ひとりひとりを見た方がよいか

それとも誰ということではなく全体を見渡すようにした方がよいか
どちらの場合もあって良いです。ひとりひとりを見る場合は、特定の子どもに偏らないよう、まんべんなく参加している子どもたちを見るようにしましょう。

Q.文字がページに散らばるように配置されている場合はどのように読めばよいか

指をさしてどこを読んでいるか指し示すと分かりやすいです。事前の練習で、どのように読めばその文字のレイアウトが効果的に聞き手に伝わるか考えてみましょう。

Q.参加型の本の読み聞かせで盛り上がりすぎてしまった場合はどうすべきか

読み聞かせを始める前に、「ページをめくったら静かにしようね」という約束をしておきましょう。

Q.表紙と中表紙で2回本のタイトルを読んだ方がよいか

読む人もいれば、読まない人もいます。どちらでもかまいません。

Q.声音や抑揚をつけすぎるのは良くないと聞いたが、自分の読み方は過剰でないかが気になる

読んでいて自然に声音が変わったり抑揚がついたりするのであれば、それがその人にとっての自然な読み方です。子どもたちの反応を大きくしようとして、声を大げさに作るのであれば、心配する必要はありません。